



カムカムよってって



2024 年 5 月よってって在宅診療所

052-626-1215 E-mail:yottette-zaitaku @minami.or.jp



診療所では毎週月曜日に情報共有のための他職種カンファレンスを実施しています。気になる症例に関しては、事例検討会も行っています。今回は看取りの方について、「患者の訴えに寄り添えたか」、「急なお別れとなったが、改善点や今後に活かす事はないか」を振り返り、話し合いました。事例検討を通して、「最期は痛みが強くなるようなら緩和病棟での入院も考える」と人生会議で話されていたご本人が実際に身の回りの事が出来なくなって来た際に、「このまま家で過ごしたい」と意思表示をされ、それに寄り添い自宅療養する事となり、奥様と一緒に過ごす事が出来ました。ただし癌性疼痛に伴う痛みに対して、麻薬持続注射使用となったのは亡くなる数日前からでしたが、痛みの訴えはもっと前からあったのか？コロナ罹患後に皮膚トラブルや状態変化があり。この期間にもう少し関わる事が出来たのではないかという意見が出ました。状態変化が急であり、ご家族の方も気持ちが追いつかない面もあったと思われるため、医療者とご家族が共通の認識で、最期を穏やかに迎えらるための準備を前持って出来るように、いい看取りとは何かについてもスタッフ間で共有しました。事例を通して、状態変化時に適切な説明をタイムリーに行い、本人の意向やご家族の意向を再確認する事、やり残した事はもうないと思えるようなお別れが出来るように、サポートしていけるように心がけて行きたいと思いました。



訪問診療エリア拡大後、もうすぐ1年が経過します。

新規依頼、利用検討の相談もお待ちしています。エリア外でも、訪問可能な場合もありますので、ご質問がありましたら、診療所へ連絡をお願いします。



暮らしの保健室は、
毎週金曜 14 時から実施しています。
もしバナゲームも行っています。
参加された方からは、「自分の死について考える事がなかったのですが、今出来ることや家族の思いを聞いておきたいと思いました。」「最後の 1 枚を選んで発表する所が、それぞれ意見が聞けて良かったです。」という感想が聞かれました。興味がある方は、是非参加して下さい。

〈診療のプチエピソード〉

他院へ通院困難となり、2 ヶ月程前から訪問診療導入となった方が最近、看取りでご家族が見守られる中、旅立って行かれました。

自宅で看るのは大変と病院に入院されていた時期もありましたが、最期は自宅で迎えたいというご家族の希望に添って、同居されている娘様、東京在住の娘様も自宅に戻られ、穏やかな最期が迎えられました。看取りをすると決められたご家族に、悔いのない関わりが出来るように今後もサポートしていきたいと思います。